



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年11月7日

上場会社名 株式会社アクシス 上場取引所 東
コード番号 4012 URL <https://www.axis-net.co.jp/>
代表者（役職名）代表取締役 会長執行役員 CEO（氏名）小倉 博文
問合せ先責任者（役職名）取締役 常務執行役員 管理本部長（氏名）小菅 直哉（TEL）03-5501-1277
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2024年12月期第3四半期の業績（2024年1月1日～2024年9月30日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	5,506	14.5	593	24.6	627	28.5	409	29.3
2023年12月期第3四半期	4,809	—	476	—	488	—	316	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年12月期第3四半期	97.34		94.19					
2023年12月期第3四半期	77.64		73.54					

当社は、2023年12月期第1四半期から非連結での業績を開示しております。そのため、2023年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	4,520	3,375	74.7
2023年12月期	4,064	3,003	73.9

（参考）自己資本 2024年12月期第3四半期 3,375百万円 2023年12月期 3,003百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	18.00	18.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	25.00	25.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,504	14.0	752	15.2	765	14.8	526	13.7	125.11

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年12月期3Q	4,331,600株	2023年12月期	4,238,200株
2024年12月期3Q	100,000株	2023年12月期	100,000株
2024年12月期3Q	4,208,545株	2023年12月期3Q	4,081,048株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される一方、欧米における高い金利水準の継続に伴う影響や地政学リスクの高まりなど、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっております。また、物価上昇、金融資本市場の変動等による影響に注意が必要な状況が続いております。このような状況の中、日銀短観2024年9月調査によると、当社サービスの重要な顧客である金融機関を含む全産業のソフトウェア投資額は2024年度計画が前年度比14.9%増となっており、IT投資は不透明さが残る環境下でも堅調に推移すると期待されます。

このような当社を取り巻く環境の中、中期経営計画Vision2027にて、① 進化するデジタル社会において、成長性の高い技術とサービスを提供する、② 生産性の高い事業を構築し、高収益企業となる事を目指す、③ 社会への還元と課題解決に努め、存在価値の高い企業となる、を中期経営方針として掲げ、同時に策定した3つの経営戦略(事業戦略、経営基盤強化、投資戦略)を推し進め、デジタル社会に貢献するサービスの拡充や体制の強化を図っております。また、顧客からの信頼を獲得し、持続的にサービスを提供するために、高度化する多数の先端技術の吸収を積極的に行うとともに、顧客及びビジネスパートナー向け営業体制の強化、業容拡大に向けた人材の積極採用、充実したサービス提供に向けた人材育成等の施策を行ってまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間において、売上高は5,506,320千円と前第3四半期累計期間と比べ697,168千円(14.5%)の増収、営業利益は593,090千円と前第3四半期累計期間と比べ117,030千円(24.6%)の増益、経常利益は627,746千円と前第3四半期累計期間と比べ139,364千円(28.5%)の増益、四半期純利益は409,666千円と前第3四半期累計期間と比べ92,823千円(29.3%)の増益となりました。

なお、当社は、システムインテグレーション事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、セグメント情報の記載を省略しております。

事業のサービス別売上高については、以下のとおりであります。

a システムインテグレーション事業

当第3四半期累計期間においては、高度化するデジタル社会の中において、確かな技術でサービスを提供できるIT人材を獲得するため、様々なチャネル等を活用した人材の採用を進めるとともに、人材育成の強化、ビジネスパートナーとの協力関係の強化及び新規のビジネスパートナーの開拓を行うなど、受注拡大に向けた体制構築を進め、顧客からの要望に応えるよう努めてまいりました。

この結果、SWIFT対応、モダナイゼーション、クラウドリフトなどの需要の取り込みを主因とした銀行向け売上の増加や、新規顧客の獲得や直接受注額の増加による官公庁案件の拡大を主因とした公共社会インフラ分野向け売上の増加などにより、当第3四半期累計期間の売上高は5,201,556千円と前第3四半期累計期間と比べ662,284千円(14.6%)の増収となりました。

b ITサービス事業

当第3四半期累計期間においては、利用者目線を大切にサービス提供を継続するために、顧客要望を積極的に確認し、サービスの改善に努めてまいりました。特に物流の2024年問題への対応を進め、リアルタイム運行管理システムKITAROサービスの機能拡充を図りました。

この結果、KITAROサービスは、堅調な新規契約及び解約台数の減少により、契約台数が好調に推移いたしました。また、当社のサービスノウハウを活用した他社サービスの構築案件やサービス提案が順調に推移し、当第3四半期累計期間の売上高は304,764千円と前第3四半期累計期間と比べ34,884千円(12.9%)の増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末と比較して456,186千円増加し、4,520,811千円となりました。その主な要因は、現金及び預金が298,584千円、売掛金及び契約資産が101,355千円、繰延税金資産等の投資その他の資産合計が62,147千円増加したことによるものです。

当第3四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末と比較して83,741千円増加し、1,145,037千円となりました。その主な要因は、未払法人税等が50,044千円、賞与引当金が124,329千円、退職給付引当金が24,304千円増加した一方、未払金等の流動負債その他が106,804千円減少したことによるものです。

当第3四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末と比較して372,445千円増加し、3,375,774千円となりました。その主な要因は、四半期純利益の計上等により利益剰余金が335,178千円増加したことによるものです。この結果、自己資本比率は74.7%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の個別業績予想につきましては、2024年2月8日に公表いたしました内容から変更はございません。

なお、本資料は発表日現在において入手可能な情報に基づいた見通しであり、実際の金額は、今後の様々な要因によって変動する場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,466,643	2,765,227
売掛金及び契約資産	941,352	1,042,708
商品	4,771	6,668
貯蔵品	22,740	19,444
その他	48,752	75,966
貸倒引当金	△1,656	△1,790
流動資産合計	3,482,603	3,908,225
固定資産		
有形固定資産	77,888	68,061
無形固定資産		
のれん	215,300	193,028
その他	886	1,403
無形固定資産合計	216,187	194,431
投資その他の資産		
その他	288,845	350,993
貸倒引当金	△900	△900
投資その他の資産合計	287,945	350,093
固定資産合計	582,021	612,586
資産合計	4,064,625	4,520,811
負債の部		
流動負債		
買掛金	269,647	261,515
未払法人税等	119,961	170,005
賞与引当金	—	124,329
その他	411,194	304,389
流動負債合計	800,803	860,239
固定負債		
退職給付引当金	260,493	284,797
固定負債合計	260,493	284,797
負債合計	1,061,296	1,145,037
純資産の部		
株主資本		
資本金	45,521	64,154
資本剰余金	145,196	163,830
利益剰余金	2,822,986	3,158,164
自己株式	△10,375	△10,375
株主資本合計	3,003,329	3,375,774
純資産合計	3,003,329	3,375,774
負債純資産合計	4,064,625	4,520,811

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	4,809,152	5,506,320
売上原価	3,617,298	4,115,067
売上総利益	1,191,853	1,391,252
販売費及び一般管理費	715,794	798,162
営業利益	476,059	593,090
営業外収益		
受取利息	22	281
受取配当金	—	22,396
助成金収入	10,251	11,894
その他	2,047	83
営業外収益合計	12,322	34,656
経常利益	488,381	627,746
特別損失		
固定資産除却損	1,881	—
抱合せ株式消滅差損	668	—
特別損失合計	2,549	—
税引前四半期純利益	485,831	627,746
法人税、住民税及び事業税	221,942	276,241
法人税等調整額	△52,953	△58,161
法人税等合計	168,989	218,080
四半期純利益	316,842	409,666

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

当社は、システムインテグレーション事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

当社は、システムインテグレーション事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、セグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	12,711千円	12,014千円
のれんの償却額	22,965 "	22,272 "